

第59回日本生殖医学会

一般社団法人日本専門医機構
に関する最新情報と
生殖医療専門医の改定について

日本生殖医学会生殖医療従事者資格制度委員長
日本泌尿器科学会専門医制度審議会委員長
日本専門医機構 社員（泌尿器科領域）
市川 智彦

2014年12月5日

第59回日本生殖医学会学術講演会
利益相反状態の開示

筆頭演者氏名：市川 智彦
所 属：千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。

社団法人
日本専門医制評価・認定機構



一般社団法人
日本専門医機構
2014年5月7日発足

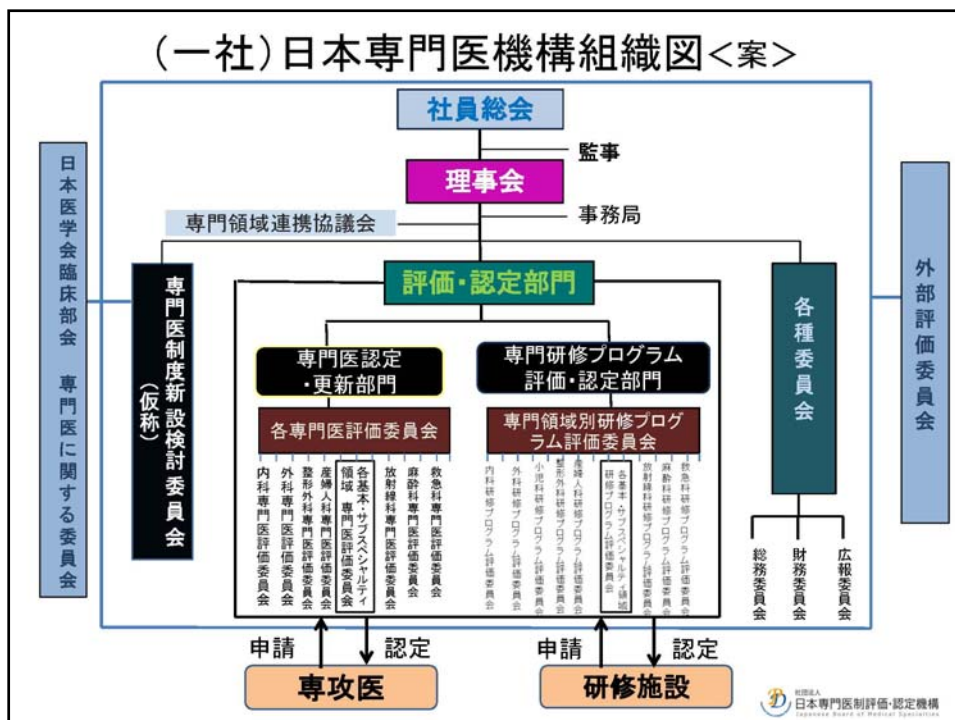
社団法人
日本専門医制評価・認定機構



一般社団法人
日本専門医機構
2014年5月7日発足

1-⑦		広告可能な専門医	第1回事務局提出資料
資格名の数55(団体の数57)(平成23年8月23日現在)		○日本リハビリテーション医学会	リハビリテーション科専門医
○日本整形外科学会		○日本老年医学会	老年病専門医
○日本皮膚科学会		○日本胸部外科学会	心臓血管外科専門医
○日本麻酔科学会		○日本血管外科学会	心臓血管外科専門医
○日本医学放射線学会		○日本心臓血管外科学会	心臓血管外科専門医
○日本眼科学会		○日本胸部外科学会	呼吸器外科専門医
○日本産科婦人科学会		○日本呼吸器外科学会	呼吸器外科専門医
○日本耳鼻咽喉科学会		○日本消化器内視鏡学会	消化器内視鏡専門医
○日本泌尿器科学会		○日本小児外科学会	小児外科専門医
○日本形成外科学会		○日本神経学会	神経内科専門医
○日本病理学会		○日本リウマチ学会	リウマチ専門医
○日本内科学会		○日本乳癌学会	乳癌専門医
○日本外科科学会		○日本人類遺伝学会	臨床遺伝専門医
○日本糖尿病学会		○日本東洋医学会	漢方専門医
○日本肝臓学会		○日本レーザー医学会	レーザー専門医
○日本感染症学会		○日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医
○日本救急医学会		○日本アレルギー学会	アレルギー専門医
○日本血液学会		○日本核医学会	核医学専門医
○日本循環器学会		○日本気管食道科学会	気管食道科専門医
○日本呼吸器学会		○日本大腸肛門病学会	大腸肛門病専門医
○日本消化器病学会		○日本婦人科腫瘍学会	婦人科腫瘍専門医
○日本腎臓学会		○日本ペインクリニック学会	ペインクリニック専門医
○日本小児科学会		○日本熱傷学会	熱傷専門医
○日本内分泌学会		○日本脳神経血管内治療学会	脳血管内治療専門医
○日本消化器外科学会		○日本臨床腫瘍学会	がん薬物療法専門医
○日本超音波医学会		○日本周産期・新生児医学会	周産期(新生児)専門医
○日本臨床細胞学会		○日本生殖医学会	生殖医療専門医
○日本透析医学会		○日本小児神経学会	小児神経専門医
○日本脳神経外科学会		○日本心療内科学会	心療内科専門医
		○日本総合病院精神医学会	一般病院連携精神医学専門医

「専門医の在り方に関する検討会報告書」 <https://nk.jiho.jp/servlet/nk/release/pdf/1226607162631>



3-⑦ 新たな専門医の仕組みに関する全体スケジュール(案)		第16回事務局提出資料を修正
24年度	専門医の在り方に関する検討会	
25年度	第三者機関設立 ・各領域の認定・更新基準の作成 ・既存の専門医の移行基準の作成	
26年度	・病院群における養成プログラムの作成 ・養成プログラムの審査・認定	
27年度	・定員設定	
28年度	・養成プログラムへの応募、試験等の実施	(移行措置)
29年度	専門医研修開始	既存の学会認定専門医からの移行措置については、第三者機関において、移行基準の作成状況等を踏まえて検討する必要がある。
30年度	研修期間については、各領域の実情に応じて別途定めることとする。(※)	
31年度	専門医認定 → 試験、実績等の審査	
32年度		
33年度		

(※)各領域の実情に応じて、臨床研修(2年間)についても加味することを検討する。

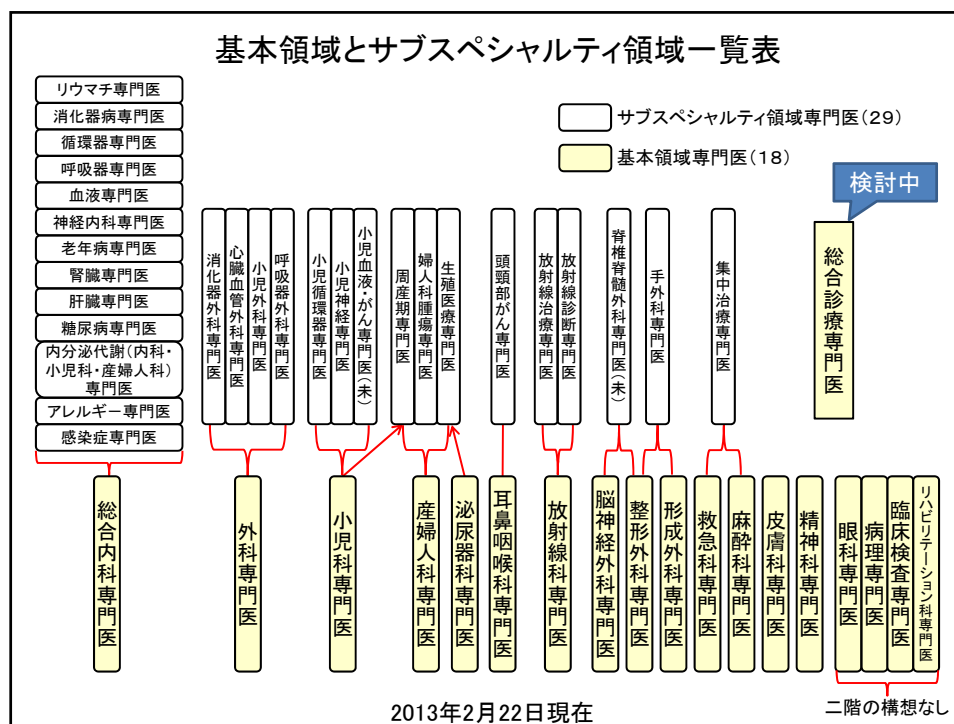
23

「専門医の在り方に関する検討会報告書」 <https://nk.jiho.jp/servlet/nk/release/pdf/1226607162631>

社団法人
日本専門医制評価・認定機構



一般社団法人
日本専門医機構
2014年5月7日発足

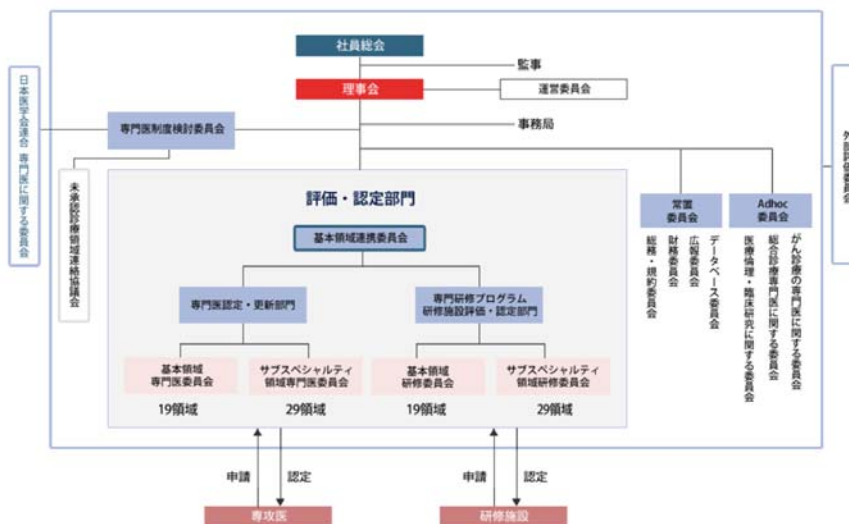


日本専門医機構への移行に伴う基本領域における 専門医制度改定の作業行程(20141205現在の見込み)

- | | |
|------------|---|
| 2015年3月31日 | 専門研修プログラム整備基準の提出・認定期限 |
| 2015年4月1日 | 新基準による専門医更新認定開始
→暫定期間を設けて前倒しで開始 |
| 2016年3月31日 | 各病院群の専門研修プログラム申請・認定期限
→当初の予定より1年先送り |
| 2016年度 | <ul style="list-style-type: none"> ✓専門研修プログラム名(施設群)の公布・周知 ✓専攻医募集 ✓専攻医採用試験の実施 |
| 2017年4月1日 | 専門研修プログラムによる研修開始 |
| 2021年度～ | サイトビジット開始 |

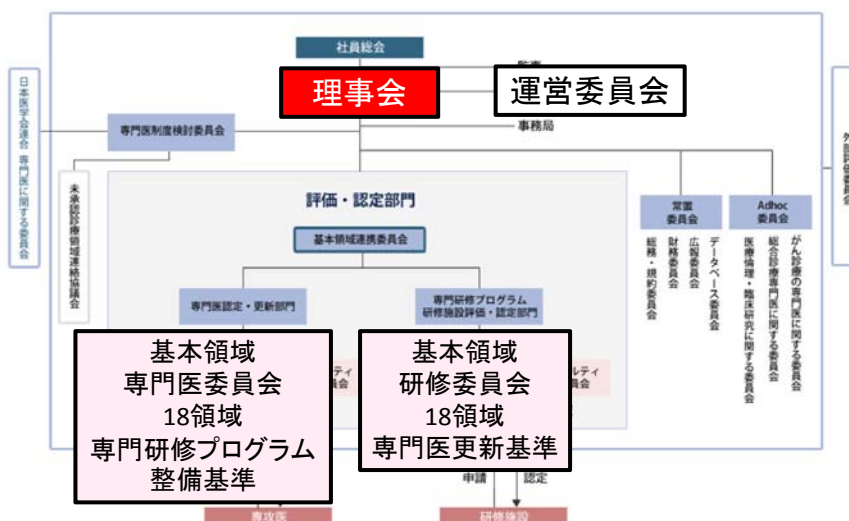
サブスペシャルティ領域の専門医制度についても同様の作業行程を想定しているが、機構から具体的な指示を受けていない。

一般社団法人日本専門医機構の組織図



<http://www.japan-senmon-ijp/organization.html>

一般社団法人日本専門医機構の組織図



<http://www.japan-senmon-ijp/organization.html>

日本専門医機構における理事会・委員会

- 理事会： 第1回～第4回
 - 2014年 6月2日、8月4日、10月6日、12月1日
- 運営委員会： 第1回～第5回
 - 2014年 6月23日、7月7日、9月1日、10月6日、11月10日
- 各種委員会
 - ✓ 専門医認定・更新部門委員会、基本領域専門医委員会
 - 更新基準に関する進捗状況のヒアリング
 - 18基本診療領域（9月17日～10月10日、計18回）
 - ✓ 専門研修プログラム研修施設評価・認定部門委員会、基本領域研修委員会
 - 専門研修プログラム整備基準案についての協議
 - 18基本診療領域（10月15日～11月14日、計18回）
- 社員総会
 - 第1回 2014年11月17日： 18基本診療領域代表社員

日本専門医機構における委員会等 日本泌尿器科学会から出席したもの（2014年8月以降）

8月14日	「専門研修プログラム研修施設評価・認定部門と各領域研修委員会委員」、「専門医認定・更新部門と各領域専門医委員会委員」の打合せ会
8月18日	「基本領域専門医委員会」「基本領域研修委員会」「専門医認定・更新部門委員会」「専門研修プログラム研修施設評価・認定部門員会」合同委員会
9月17日	「専門研修プログラム施設評価・認定部門／研修委員会」専門研修プログラム整備基準作成説明会
9月30日	「第1回基本領域連携委員会」
10月3日	基本領域専門医委員会ヒアリング
10月22日	専門研修プログラム整備基準についての協議
11月17日	第1回社員総会

日本専門医機構に関する各種作業

- 専門医認定・更新に関するアンケート
- 専門医更新基準の策定
- 専門研修プログラム整備基準の策定

日本専門医機構に関する各種作業

- 専門医認定・更新に関するアンケート
- 専門医更新基準の策定
- 専門研修プログラム整備基準の策定

日本専門医機構からの専門医認定・更新に関するアンケート ＜提出期限 2014年9月10日＞

2) 2015年度～2019年度における新機構による専門医資格更新について

原則として2020年度からの資格更新の最終基準を2015年度より始まる暫定期間の更新の新基準と定めます。更新認定に関しては新基準のみによるものとします。申請者が予定の年度に基準を満たさない場合は更新期間延長などの配慮、により、更新時期を猶予することが考えられます。

具体的には

2015年度～2019年度における専門医更新に関して

- 更新時期に新基準を満たす場合→更新時期に更新可能。
更新時期に新基準を満たさない場合→新基準未達成分を満たすまで更新時期を猶予(詳細は各領域専門医委員会と相談の上決定)。
- 専門研修の施設認定を受ける必要がある施設の指導医で2017年までに専門医更新の時期を迎えない場合、当該指導医の希望があれば更新の新基準を満たすことを条件に前倒しで更新認定を受けることも可能と考えられる。(詳細は各領域専門医委員会と相談の上決定)

これに対する貴委員会のお考え、もし問題があればそれに対し考えうる対応策をお示しください。

日本専門医機構に関する各種作業

- 専門医認定・更新に関するアンケート
- 専門医更新基準の策定
- 専門研修プログラム整備基準の策定

専門医更新の基準策定における課題

指示された事項	日本泌尿器科学会における課題	日本生殖医学会では？
専門医の更新の条件を具体化：手術件数、診療時間、症例レポートなど	開業後の手術症例	更新時の数値は定めていない
最新の知識にcatch up できていることの証明	単位を加算するシステムの拡充	単位を加算するシステムを拡充する必要あり
2015年度の更新から新基準を前倒しで採用、新基準を満たす＝日本専門医機構の更新認定	2015年度は困難	検討しておく必要あり
2020年までには全ての専門医が日本専門医機構による更新認定	一般勤務医と開業医の条件のすりあわせ	検討しておく必要あり

日本専門医機構に関する各種作業

- 専門医認定・更新に関するアンケート
- 専門医更新基準の策定
- 専門研修プログラム整備基準の策定

専門医制度整備指針（第1版）

- I. 専門医制度の理念と設計
 - 1. 専門医像と専門医制度
 - 2. 専門医制度の概要
 - 3. 日本専門医機構の組織
 - 4. 専門医制度整備指針について
- II. 専門医育成
 - 1. 専門医制度の意義と整備指針
 - 2. 専門研修カリキュラム
 - 3. 専門研修プログラム
- III. 専門医の認定と更新
 - 1. 専門医の認定
 - 2. 専門医の更新
- IV. 専門研修プログラムの評価と認定(更新を含む)
 - 1. 専門研修プログラムの申請と認定
 - 2. 専門研修プログラムの更新

2014年7月 一般社団法人 日本専門医機構

専門研修プログラム整備基準 記入フォーマット 項目目次 1／4

- 1 理念と使命
 - ① 領域専門医制度の理念
 - ② 領域専門医の使命
- 2 専門研修の目標
 - ① 専門研修後の成果(Outcome)
 - ② 到達目標(修得すべき知識・技能・態度など)
 - i 専門知識
 - ii 専門技能(診察、検査、診断、処置、手術など)
 - iii 学問的姿勢
 - iv 医師としての倫理性、社会性など
 - ③ 経験目標(種類、内容、経験数、要求レベル、学習法および評価法等)
 - i 経験すべき疾患・病態
 - ii 経験すべき診察・検査等
 - iii 経験すべき手術・処置等
 - iv 地域医療の経験(病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療など)
 - v 学術活動
- 3 専門研修の方法
 - ① 臨床現場での学習
 - ② 臨床現場を離れた学習(各専門医制度において学ぶべき事項)
 - ③ 自己学習(学習すべき内容を明確にし、学習方法を提示)
 - ④ 専門研修中の年度毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専門研修プログラム整備基準 記入フォーマット 項目目次 2／4

- 4 専門研修の評価
 - ① 形成的評価
 - 1) フィードバックの方法とシステム
 - 2) (指導医層の)フィードバック法の学習(FD)
 - ② 総括的評価
 - 1) 評価項目・基準と時期
 - 2) 評価の責任者
 - 3) 修了判定のプロセス
 - 4) 多職種評価
- 5 専門研修施設とプログラムの認定基準
 - ① 専門研修基幹施設の認定基準
 - ② 専門研修連携施設の認定基準
 - ③ 専門研修施設群の構成要件
 - ④ 専門研修施設群の地理的範囲
 - ⑤ 専攻医受入数についての基準 (診療実績、指導医数等による)
 - ⑥ 地域医療・地域連携への対応
 - ⑦ 地域において指導の質を落とさないための方法
 - ⑧ 研究に関する考え方
 - ⑨ 診療実績基準(基幹施設と連携施設) [症例数・疾患・検査/処置・手術など]
 - ⑩ Subspecialty領域との連続性について
 - ⑪ 専門研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

専門研修プログラム整備基準 記入フォーマット 項目目次 3／4

- 6 専門研修プログラムを支える体制
 - ① 専門研修プログラムの管理運営体制の基準
 - ② 基幹施設の役割
 - ③ 専門研修指導医の基準
 - ④ プログラム管理委員会の役割と権限
 - ⑤ プログラム統括責任者の基準、および役割と権限
 - ⑥ プログラム統括責任者の要件
 - ⑦ 連携施設での委員会組織
 - ⑧ 労働環境、労働安全、勤務条件
- 7 専門研修実績記録システム、マニュアル等の整備
 - ① 研修実績および評価を記録し、蓄積するシステム
 - ② 人間性などの評価の方法
 - ③ プログラム運用マニュアル・フォーマット等の整備
 - 専攻医研修マニュアル
 - 指導者マニュアル
 - 専攻医研修実績記録フォーマット
 - 指導医による指導とフィードバックの記録
 - 指導者研修計画(FD)の実施記録

専門研修プログラム整備基準 記入フォーマット 項目目次 4／4

- 8 専門研修プログラムの評価と改善
 - ① 専攻医による指導医および研修プログラムに対する評価
 - ② 専攻医等からの評価(フィードバック)をシステム改善につなげるプロセス
 - ③ 研修に対する監査(サイトビジット等)・調査への対応
- 9 専攻医の採用と修了
 - ① 採用方法
 - ② 修了要件
- 10 その他

専門研修プログラム整備基準での課題 1／2

項目	面談での指摘事項	日本生殖医学会では？
領域専門制度の理念	専門医を地域的に偏在させない配慮も記載	既に専門医が偏在している
医師としての倫理性、社会性など	具体的な評価方法を記載	未整備
地域医療の経験	過疎地を見放さない考慮を具体的に記載	該当しない？
フィードバックの方法とシステム	年2回の形成的評価、具体的な「報告手段」を記載	未整備
(指導医層の)フィードバック法の学習(FD)	医学教育的なFD(とくに評価法と指導)を要求	未整備
専門研修基幹施設の認定基準	初期臨床研修の基幹型臨床研修病院の指定基準、専門研修基幹施設が核となり複数の連携施設とコンソーシアムを形成、250～300人/年の専門医なら100位	50～60名/年としても 20位の専門研修基幹施設 大学病院や総合病院を専門研修基幹施設として不妊専門クリニック数施設を連携施設としたコンソーシアムとなるか？

専門研修プログラム整備基準での課題 2/2

項目	面談での指摘事項	日本生殖医学会では？
診療実績基準(基幹施設と連携施設) [症例数・疾患・検査/処置・手術など]	具体的な数字を記載	ARTの件数のみ記載あり
連携施設での委員会組織	連携施設での委員会と基幹施設との関連などの記載が必要	具体的な記載はない
研修実績および評価を記録し、蓄積するシステム	Webを利用したシステムなどを構築することを推奨	紙媒体でも作成していない
指導者研修計画(FD)の実施記録	教育法と評価法についての記録	実施していない
修了要件	具体的に症例数＋手術数＋・・・などを明示する。	具体的な数値を定めていない

日本専門医機構への移行に伴う基本領域における専門医制度改定の作業行程(20141205現在の見込み)

2015年3月31日	専門研修プログラム整備基準の提出・認定期限
2015年4月1日	新基準による専門医更新認定開始 →暫定期間を設けて前倒しで開始
2016年3月31日	各病院群の専門研修プログラム申請・認定期限 →当初の予定より1年先送り
2016年度	✓専門研修プログラム名(施設群)の公布・周知 ✓専攻医募集 ✓専攻医採用試験の実施
2017年4月1日	専門研修プログラムによる研修開始
2021年度～	サイトビジット開始

サブスペシャリティ領域の専門医制度についても同様の作業行程を想定しているが、機構から具体的な指示を受けていない。